

## ●韓国

### マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が10月24日に公表した2019年第3四半期の成長率（速報値）は、季節調整値で前期比0.4%となり前期の1.0%から低下した。需要項目別に見ると、内需では、最終消費支出は同0.4%で前期の同1.1%から低下した。固定資本形成は同▲2.3%で、前期の1.6%からマイナスとなった。その内訳では、建設投資は同▲5.2%で前期の同1.4%からマイナスとなった。設備投資は同0.5%で、

前期の同3.2%から低下した。外需である財・サービスの輸出は同4.1%で、前期の同2.0%から上昇した。一方で財・サービスの輸入は同0.9%となっている。

2019年第3四半期の鉱工業生産指数伸び率は季節調整値で前期比1.9%となり、前期の同1.4%から上昇した。月次では季節調整値で、2019年8月に前月比▲1.8%、9月に同2.0%となっている。

2019年第3四半期の失業率は季節調整値で3.4%であった。月次では2019年8月に3.1%、9月は3.4%となっている。

2019年第2四半期の貿易収支（IMF

方式）は175億ドルの黒字であった。月次では2019年8月には48億ドルの黒字であった。

2019年第2四半期の対ドル為替レートは1ドル=1167ウォン、月次では2019年4月に同1174ウォン、7月に同1177ウォン、8月に同1211ウォンと推移している。

2019年第2四半期の消費者物価上昇率は前年同期比0.4%であった。月次では2019年6月に前年同月比0.7%、7月に同0.6%、8月に同0.0%と推移している。2019年第2四半期の生産者物価上昇率は前年同期比0.4%であった。月次では2019年

6月に前年同月比0.1%、7月に同▲0.3%であった。

### 日本の半導体関連輸出管理強化の影響

既報のように、日本政府は7月、韓国政府の安全保障上の貿易管理体制の不備を理由に、半導体材料の輸出管理を厳格化することを発表した。品目はフッ化水素、フッ化ポリイミド、レジストの3品目である。3品目の生産における日本のシェアは高く、仮にこれらの品目の輸出が長期間滞れば、韓国の主要輸出品であるDRAMなどの半導体、有機ELパネルなどの生産

に大きな影響が出る事が予想される所である。10月現在、フッ化水素、レジストの2品目について、日本の輸出許可が出され始めたことが確認されている。

10月30日、政府系シンクタンク対外経済政策研究院(KIEP)は、日本の措置の影響をレポートとして発表した。これによると、高純度のフッ化水素については、韓国企業が確保した在庫、仕入れ先の多角化などによって、現在は大きな影響は出ていないとしている。フッ化ポリイミドも影響は少なく、レジストは日本企業の海外工場、台湾などから調達可能としている。また、仮に日本の輸出規制で韓国の半導体生産が1

割減少した場合、輸出は0.347~0.579%減少し、GDPは0.320~0.384%減少するとの試算も示した。

一方、韓国国内の日本製品不買運動によって、衣料品、ビール、自動車などの売り上げは急減しており、韓国市場からの撤退を決めた企業もあるとしている。

また、紛争のWTOのパネルへの提訴については、二審にあたる上級委員会も含めて、結論が出るまでに3年程度かかるとの見込みを示した。

ERINA 調査研究部主任研究員  
中島朋義

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	18年 10-12月	19年 1-3月	4-6月	7-9月	19年 8月	9月	10月
実質国内総生産(%)	3.3	2.6	2.8	3.1	2.7	1.0	▲0.4	1.0	0.4	-	-	-
最終消費支出(%)	2.0	2.4	2.9	2.8	3.5	1.5	0.2	1.1	0.4	-	-	-
固定資本形成(%)	3.1	3.8	5.2	8.6	▲2.3	1.9	▲2.8	1.6	▲2.3	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	0.2	▲0.6	3.0	2.4	1.3	▲1.5	▲2.9	1.4	1.9	▲1.8	2.0	-
失業率(%)	3.5	3.6	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9	4.0	3.4	3.1	3.4	-
貿易収支(百万USDドル)	88,885	122,269	118,895	113,593	111,867	24,670	19,609	17,453	-	4,768	-	-
輸出(百万USDドル)	613,021	542,881	511,947	580,310	625,437	158,693	137,503	140,215	-	45,155	-	-
輸入(百万USDドル)	524,135	420,612	393,052	466,717	513,571	134,023	117,894	122,762	-	40,386	-	-
為替レート(ウォン/USDドル)	1,053	1,132	1,160	1,130	1,101	1,128	1,126	1,167	1,194	1,211	1,197	1,182
生産者物価(%)	▲0.5	▲4.0	▲1.8	3.5	2.0	1.5	0.3	0.4	▲0.5	▲0.6	▲0.7	-
消費者物価(%)	1.3	0.7	1.0	1.9	1.5	1.8	0.5	0.7	0.0	0.0	▲0.4	0.0
株価指数(1980.1.4:100)	1,916	1,961	2,026	2,467	2,041	2,041	2,141	2,131	2,063	1,968	2,063	2,083

(注)国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値。

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値。

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価は2010年基準、消費者物価は2015年基準。

貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格。

(出所)韓国銀行、統計庁他